

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.39, No.4



▶グローバルフロア



▶メインフロア



▶ボックスシート



▶グループ学習室



▶学生閲覧室



新年号

Contents

TOPICS

- リニューアルオープン式典を実施 2
- リニューアル記念展示を開催 2

LEARNING

- 全学教育科目「レポート力」アップのための
情報探索入門」開講中！ 3
- 電子ブックのススメ(4) 4
〈留学生向けの本、海外への留学希望者向けの本〉
eBooks for international students and
Japanese students who want to study abroad

SERIES

- 「ゆかりの人々」 5
流体科学研究所 圓山重直 教授
- <つながり>の一冊 5
『外国語学習の科学——第二言語習得論とは何か』

EVENTS

- 仙台二高生が本館で英語多読の研修受講 6
- 全国大学ビブリオバトル2014京都決戦
東北地区決戦開催 6
- 2号館利用再開！ 7
- 仙台二中生が医学分館で職場体験 7
- 選書イベント開催(北青葉山分館) 8
- 各種講習会(農学分館) 8

リニューアルオープン式典を実施



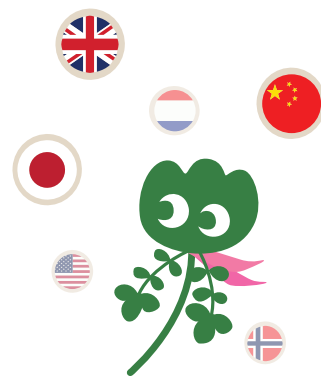
▶テープカットする鈴木参事官(左) 里見総長(中) 植木館長(右)

平成26年10月8日に附属図書館(本館)は、リニューアルオープンを記念した式典を行いました。式典では、植木館長の挨拶に続いて、里見進東北大学総長及び文部科学省研究振興局の鈴木敏之参事官(情報担当)からそれぞれ祝辞をいただき、引き続きテープカットが行われました。式典には、学内外から約80名の関係者が出席されました。

今回の全面改修では、「里見ビジョン」の重点戦略の一つである「グローバルな修学環境の整備」に資するためグローバルフロアを新設し、学生の自律的で多様な学習を引き出す場として機能する図書館に生まれ変わりました。

リニューアル記念展示を開催

平成26年10月8日(水)から11月10日(月)まで、本館リニューアルオープン記念展示「響鳴する知の遺産 ～グローバル視点による名著の数々～」を開催しました。この展示は今回のリニューアルで新設したグローバルフロアにちなみ、図書館が所蔵する西洋古典籍の中から、世界中の誰もが知っている名著(『資本論』、『種の起源』初版本等)を公開するとともに、日本と海外とのグローバルな交流に焦点を当て、世界から影響を受けた古典籍(『解体新書』、『西洋料理指南』等)、海外へ影響を与えた日本の文化(浮世絵、和食等)を紹介しました。また、ロンドン留学の漱石や、中国からの留学生魯迅を取り上げ、研究者どうしの人的な交流にも着目した展示としました。アンケートでは「江戸時代の絵画やファッション等すべてが本当にすばらしかったです」や「近場で貴重な原本をたくさんみる事ができて感激しました」「いろいろ驚愕するようなものがあり楽しかった、他のテーマでも開いてほしい」など、うれしい感想が寄せられ大変好評でした。





全学教育科目「『レポート力』アップのための情報探索入門」 開講中！

現在、2セメ・木曜日・5講時で「『レポート力』アップのための情報探索入門」という授業を開講しています。
内容は以下のとおりで、教員と図書館職員によるオムニバス形式の授業となっています。

- | | | | |
|-------------------------|------|--------------------------------------|------|
| 第1週 大学図書館を使いこなそう | | 第9週 レポートの着眼点を見つける | |
| 第2週 レポート作成法① | 西尾先生 | 第10週 レポートのアウトラインを組み立てる | 渡辺先生 |
| 第3週 レポート作成法② | | 第11週 引用文献の書き方 | |
| 第4週 レポート作成法③ | 酒井先生 | 第12週 研究活動の実際と情報探索①自然科学分野 | 犬塚先生 |
| 第5週 テーマを決める | | 第13週 研究活動の実際と情報探索②人文社会科学分野 | |
| 第6週 本の探し方①OPAC検索 | | 第14週 よりよいレポートを目指して | 泉山先生 |
| 第7週 本の探し方②ブラウジング | | 第15週 まとめ-これから大学図書館をもっと活用するために | |
| 第8週 論文・新聞記事の探し方 | | | |

※青字は図書館職員による講義

この授業では、レポート作成に必要な情報収集や執筆の基礎を、15週かけて解説します。最終レポートや課題の提出がありますが、毎回コメントを付けて返却するなど丁寧に指導しています。

また、自然科学分野・人文社会科学分野の先生方に、実際の研究活動について紹介していただく回もあり、レポート作成にとどまらず、広く研究の世界を知ることできます。



▶ 酒井先生によるレポート作成法の講義



▶ 図書館での講義<グループディスカッション>

さらに、サポートデスクとして、授業時間以外でもレポート作成の相談ができる窓口を、平成27年1月28日(水)まで図書館内で開設しています。これは受講生に限らず利用できますので、レポート作成や情報収集などで悩んでいる方など、お気軽にご相談ください。

サポートデスク : 附属図書館本館1階メインフロア レファレンスデスク内(～1/28(水))

月・水・金 / 11:30～13:30
火 / 15:00～17:00

*サポートデスクメンバーの都合によって変更する可能性があります。

授業内容やサポートデスクの開設時間については、[図書館HP](#) → 「レポート力」アップのための情報探索入門 からご確認ください。

http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/supp/index.php?cat_id=5

平成27年度は、1セメ・金曜日・5講時で開講予定です。
レポート作成を基礎から学びたい方は、ぜひ受講してください。





電子ブックのススメ(4)

〈留学生向けの本、海外への留学希望者向けの本〉

eBooks for international students and Japanese students who want to study abroad

電子ブックには、留学生向けの日本語学習の本や、海外への留学希望者向けの留学関連の本などもあります。学内のパソコンの他、無線LANを利用してお持ちのパソコンやスマートフォン、タブレットなどで、図書館以外の場所でも読むことができますので、ぜひ活用してください。

There are a wide variety of eBooks available such as books for learning Japanese, books for studying abroad, etc. Feel free to read them from any campus computer, smart phone, or tablet to the campus wireless LAN.

● For international students (Japanese language and culture)



耳から覚える日本語能力試験1級文法トレーニング



話せる日本語360枚のカードで学ぶ中級会話



どんな時どう使う日本語表現文型辞典：英・中・韓 3カ国語訳付き = Essential Japanese expressions includes English, Chinese, and Korean translations



Remembering the Kanji



47都道府県・こなものの食文化百科

Learn Japanese culture!

● 海外への留学希望学生向け (留学情報、語学学習)



留学&ホームステイのための英会話 最新版



大学院留学のためのエッセーと推薦状 新装版 — MBA&ロースクール出願対策完全ガイド



海外の大学・大学院で授業を受ける技術 — Study skills : 留学前・留学中に知っておきたい「技術」を詳しく紹介！



日本語の発想・英語の発想



Visual Cultures

他文化を学ぶ、日本文化を紹介する

上記は一例です。この他にも、検索して必要な本を探してみましょう。

Above are just a few examples of the eBooks collection. Please have a try to search the books that you need.

● 利用方法 / How to read eBooks

今回ご紹介した電子ブックは、OPACで蔵書検索した結果からリンクして利用できます。

また、検索条件の資料区分を「電子ブック」にすると、電子ブックのみを検索します。

URL to the eBook version of a book is provided along with the search result of OPAC.

Furthermore, by checking the eBook box before OPAC search, you can narrow down the search results to eBooks only.

① OPAC検索 / Search a book by OPAC

② 検索結果で該当するものを選択 / Select the title from the search result

③ URLのアイコンをクリック / Click the icon in the URL column

| URL | 配架場所 | 巻次 | 請求記号 | 資料番号 | 状態 | コメント |
|------|---------------|----|------|-------------|----|------------|
| BOOK | 電子ブック(左をクリック) | | | 0E100003260 | | 同時アクセス数: 1 |

※同時アクセス数(同時に利用できる人数)が決まっていますので、利用できない場合は、少し時間をおいてから再度接続してみましょう。
 ※Since the number of simultaneous access to the eBook collection is limited, if you cannot access the eBook collection please wait a while before re-connecting to the URL.



「ゆかりの人々」～ 流体科学研究所 圓山重直 教授

シリーズ「ゆかりの人々」は、「東北大ゆかりコレクション」にちなみ、本学の卒業生、教職員など、東北大学にゆかりのある方々の著書について、ご本人に様々なエピソードを含めて、ご紹介いただくコーナーです。

シリーズ10回目は、本学流体科学研究所の圓山重直教授です。



私たちの研究室では、東北大学の社会貢献として、2011年3月の震災直後から福島第一原子力発電所事故の熱流動解析と事故収束の提言を行ってきました。この取り組みは現在も続けています。

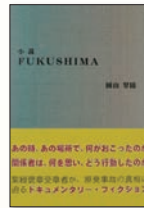
<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/maru/atom/index.html>



円山重直 著「光エネルギー工学」
養賢堂(2004年)

この本は、工学研究者や技術者を対象とした、ふく射エネルギー伝播を扱った専門書です。熱ふく射は炭火で魚を焼くときの俗に言われる「遠赤外線」の加熱と関係しています。ふく射エネルギー伝播は、二酸化炭素などによる地球温暖化の元凶でもあるのです。

(本館学閲MC91/064 工学分館535.8/11 流体研)



圓山翠陵 著「小説 FUKUSHIMA」
養賢堂(2012年)

私たちが行ってきた福島原発事故解析を分かりやすく「ドキュメンタリー」としてまとめたものがこの「小説」です。小説は私たちが行ってきた原子炉の挙動解析を縦糸に、当時の報道などを元にした人々の対応を横糸に組み上げ、想像を超えた過酷事故への対応提言も織り込んでいます。当時の原発所長や総理などの登場人物は実在です。最近、朝日新聞で話題となった政府事故調の吉田調書の内容と、この「小説」は良く一致しています。

ただし、複雑な事故経過を読者に最後まで読んでいただけるように、いくつかのフィクションも織り交ぜています。例えば、当時の原発所長、故吉田昌郎氏は東京工業大学出身ですが、小説の山本所長は現在の東北大学工学研究科量子エネルギー工学専攻修了としています。ヒロインは架空の人物で、出張時に取材した国際線のCAさんです。私も、ちょっと出ています。

(本館学閲KH335/042 流体研)



〈つながり〉の一冊 『外国語学習の科学——第二言語習得論とは何か』

『外国語学習はどうして上手いかわからないの?』

国際文化研究科・国際文化言語論専攻博士課程前期1年 村上直哉

シリーズ〈つながり〉の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていく<リレーエッセイ>です。



外国語学習はどうして上手いかわからないのでしょうか。外国語学習に裏技はあるのでしょうか。何年間も勉強してもなぜネイティブのように外国語を操れないのでしょうか。それは勉強の仕方が悪いからでしょうか。そもそも外国語は「勉強するべきもの」なのでしょうか。母語(赤ちゃんが習得する言語)を勉強して習得したという人はおそらくいないでしょう。つまり、母語は知らないうちに自然と話せるようになっていたはずで、母語のように、つまり特に勉強などせず外国語を習得できる、そんな夢のような学習法はあるのでしょうか。もし外国語が母語と同じように習得できないとしたら、それはなぜでしょうか。このように考えてみると外国語学習には「なぜ」と思えることがたくさん(本当にたくさん!)あります。今回紹介する『外国語学習の科学——第二言語習得論とは何か』では、外国語学習のさまざまな「なぜ」に対する答えのヒントがいくつも書かれています。

例えば、本書では日本人にとって英語がなぜ難しいのか、について書かれています。「日本人は英語ができない」とよく言われます。読者の方も聞いたことがあるかと思いますが。確かにTOEFLの点数を見ると日本人は英語が苦手だと言えるでしょう。では、なぜ日本人は英語ができないのか、考えたことはありますか。その理由が気になる方はぜひ図書館で借りて読んで下さい。

どうですか。外国語学習の「なぜ」を少し考えてみたくありませんか。本書では、日本人が英語を苦手とする理由の他に、外国語を習得するとはどのようなことなのか、どうして子どもは言語を習得できるのか、効果的な学習法などに関することが非常に分かりやすく書かれています。

また、読者の中には、今現在外国語を学習している方が大勢いるかと思えます。さらに、外国語を指導する立場の方もいるかもしれません。もちろん外国語を学習している方にも本書をおすすめしますが、外国語を指導する立場の方にこそ本書を読んで頂きたいと思えます。より良い指導へのヒントがきっとありますよ。(本館学閲新書岩波新書 US1/0228/1150)

EVENTS

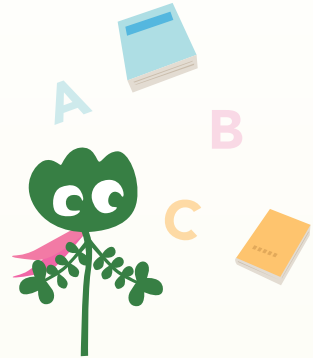
仙台二高生が本館で英語多読の研修受講

平成26年10月31日(金)から11月10日(月)にかけて、宮城県仙台第二高等学校の1年生320名が、3回に分け、10月に新設した本館グローバル学習室において英語多読の研修を受けました。

この研修は、グローバル人材育成に向けて、生徒に大きな刺激を与え視野を広げる機会を持たせることを目的に高校から依頼があり、本館で実施することになったものです。本学高度教養教育・学生支援機構のシャロン講師に、英語多読についての講義(日本語1回、英語2回)を行っていただきました。高校生の皆さんは、英語の必要性や勉強法といった内容について熱心に耳を傾けており、英語による質問などもありました。

講義の後には、図書館の職員から多読用テキストの利用を含めた簡単な図書館案内を行い、留学生コンシェルジュによる英語での自己紹介なども行いました。

また、希望者には、多目的室における当館の貴重資料の企画展示を案内しました。



▶シャロン先生の話真剣に聞く生徒たち



▶留学生コンシェルジュからの説明

EVENTS

全国大学ビブリオバトル2014 京都決戦 東北地区決戦開催

平成26年11月30日(日)、附属図書館本館において、「全国大学ビブリオバトル2014 京都決戦」の東北地区決戦が、約50名の観客のもと開催されました。ビブリオバトルとはバトラー(発表参加者)が本の魅力を5分間で紹介し、質疑応答を経た後、観客とバトラーがどの本を読みたくなったかを投票して、チャンプ本を決める知的書評合戦です。東北地区の各予選会を勝ち抜いたチャンプ本獲得者10名が集結し、熱いバトルが繰り広げられました。チャンプ本に輝いたのは、宮城教育大学4年の大槻桃子さんが紹介した『夢うつつ』(あさのあつこ著)と、秋田大学3年の新屋敷元さんが紹介した『聖書男(バイブルマン) 現代NYで「聖書の教え」を忠実に守ってみた1年間日記』(A. J. ジェイコブズ著)です。大槻さん、新屋敷さんは12月14日に京都大学で行われる京都決戦へ出場しました。



▶参加したバトラーの方々

EVENTS

2号館利用再開！

平成26年11月4日より、2号館の通常通りの利用が再開されました。2号館の開館時間につきましては、従来通り、8:45～17:00です。臨時開館の時とは異なりますので、ご注意ください。

雑誌の大半が利用できない期間が長く続き、利用者の皆様には、だいぶ、ご不便をおかけいたしておりました。書架が増設され、資料配置を変え、収蔵量が増えました。

コピー機につきましては、従来通り、1階はコイン・生協コピーカード併用、2階はコイン式のみでカラーコピー対応、3階は生協コピーカード使用となっております。

4階に狩野文庫と古典資料が配され、1階電動書架から和雑誌の配置を始める等、資料の配置は従前からはだいぶ変わっています。また、1号館に移動した資料もあります。わからない点、探せない資料などございましたら、カウンターでお尋ねください。

なお、狩野文庫と古典資料の利用につきましては、従来通り、本学大学院生、本学教職員の方は入庫検索が可能です。それ以外の方は出納による利用となります。利用時間は閉館の30分前までです。詳しくはカウンターでお尋ねください。

書架増設に伴い、閲覧席の配置もだいぶ変わりました。1階にはグループ学習に向けた四人掛けの閲覧机を配し、2～3階は一人で静かに学習できるキャレルを配しました。これからも、どうぞご利用ください。



▶1階閲覧席



▶2階閲覧席

EVENTS

仙台二中生が医学分館で職場体験

平成26年11月18日(火)～21日(金)の4日間、仙台市立第二中学校の2年生2名が、医学分館へ職場体験に訪れました。医学分館では昨年に引き続き2度目の受け入れとなります。

中学生は、カウンターでの利用者対応のほか、文献複写の受付・依頼、新着雑誌の配架、資料の整理作業など、普段利用者には見えない裏方の仕事に取り組むと共に、仕事の合間には館内を見まわり、「お気に入りの席を見つけて利用している」「別棟は、本を持ってるのが面倒なので利用者が少ないのでは」などと利用者の様子を観察していました。

職場体験を終えた中学生からは、「利用者のことを考えて動くその姿勢は、自分のことばかり考えがちな私たちにとって、目指すべき姿だなと思った」「どんな大変なことでも面倒くささからずがんばっていきたい」「勉強、特に英語の必要性を心から感じた」との感想が寄せられました。今回の体験が、自分の将来を考え、学校での学びの意味を再確認する機会になったとすれば、嬉しいことです。



▶新着雑誌を配架する中学生

EVENTS

選書イベント開催(北青葉山分館)

北青葉山分館では、平成26年12月1日(月)～12月12日(金)の期間、利用者による選書イベント、「本気で探す? 本とに会える! 10days 2014」を開催しました。

各書店のご協力で、カウンター前に約800冊の図書を並べ、分館の蔵書にして欲しい本に投票していただき、参加者には抽選で図書館グッズ等を差し上げました。期間中303票の投票があり、194点が選ばれました。



▶風船ツリー登場!



▶ただいま選書中



▶会場の様子。風船で華やかに。



▶看板も職員の手作り。文字はなんとドングリです。

EVENTS

各種講習会(農学分館)

農学分館では例年、個人・グループ・ゼミなどを対象として、図書館利用全般や特定のデータベースの利用法について講習会を行っています。

2014年は100名ほどの農学部生に講習を行い、受講者からは「今まで知らなかった検索方法を知ることができた」、「研究に際して実践的な内容だった」、「論文を効率的に探す方法は初めて知った」などの感想が寄せられています。

講習会の開催申し込みは、随時受付しております。農学分館ホームページから講習会申込書をダウンロードして必要事項を記入し、カウンターへ持参するかあるいはメール添付でご提出ください。カウンターで直接ご相談いただいても構いませんので、皆様からのお申し出をお待ちしております。

※農学分館ホームページ = <http://www.library.tohoku.ac.jp/agr/>

※農学分館メールアドレス = agr-counter@library.tohoku.ac.jp



はぎのすけのつぶやき

「東北大学附属図書館イメージキャラクターのはぎのすけです。皆さんの快適な学習環境をおたすけいたします。どうぞよろしくおねがいいたします。」



Tohoku Univ. Library
@hagi_no_suke

東北大学附属図書館のツイッター公式アカウントです。東北大学生の学習と生活のためにつぶやきます。
http://twilog.org/hagi_no_suke
Sendai, Miyagi, JAPAN